

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者のADLの低下に伴い、外出の機会が減少する可能性がある。	外出機会の継続・確保をしていく。	○個別の目的・希望に合った外出機会づくり。 ○家族との外出機会づくり	12ヶ月
2	52	ウッドデッキの一部に破損があるため、有効に活用できていない。	ウッドデッキの有効活用を行う。	○ウッドデッキ破損部分の修繕。環境整備。 ○ウッドデッキを活用した生活メニューづくり。	12ヶ月
3	54	部屋の模様替えや家具の設置など空間整備は行っているが、本人のADLに合わせた安全確保は十分であるとはいえない。	引き続き一人ひとりの住み心地の良い部屋を入居者と一緒になって考え、心身状況に応じた環境を整える。	○寛ぐことができる空間づくりを入居者と考える。 ○本人の心身状況に合わせた環境づくり。 ○家族の協力を得ながら必要に応じた調度品、移動支援用具等の設置。	12ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた取り組みについて事業所内で協議をすすめているが、職員研修や職員体制、家族の理解・連携は進んでいない。	職員研修を重ね、家族との連携を密にし、実践に向けた取り組みと体制づくりを行う。	○職員・家族を含めた研修会の実施。 ○家族との面接をはじめとした連携強化。 ○取り組み体制の強化。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。